

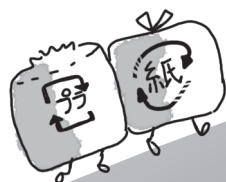
市民  
ごみ大学  
セミナー



2月18日(日)  
13:30 ~ 16:00

2018年  
2月開催

# どうなる？ 古紙や廃プラスチックの 資源循環



## 海外輸出と国内循環をめぐって

講師：(株)資源新報社 専務取締役  
太田原 覚<sup>さとる</sup>さん

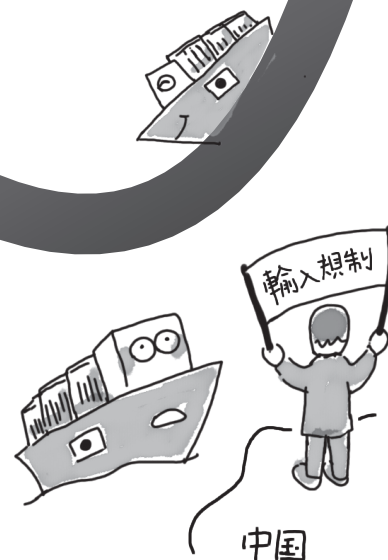
日本の古紙や廃プラスチックなどの再生資源は、国内循環だけでなく、海外へ輸出することによって需要と供給のバランスが保たれています。

しかし輸出先の中国が、海外からの輸入再生資源を扱う企業への取り締まりを強化したため、いま日本国内のリサイクルシステムが混乱し、不透明な状況になっています。

これは私たちの暮らしの中に定着した「リサイクル」に大きく影響する問題でもあり、万が一、資源の回収がストップするようなことになれば、たちまちごみ量の増加につながってしまうでしょう。

しかし一方で、国内では新聞や雑誌が激減しているため、古紙が足りない、という話もあります。国内循環はこれからどうなっていくのでしょうか。

そこで、今回のセミナーでは古紙や廃プラスチックなどの再生資源の循環について、あるべき姿を考え、現状と今後の展望について学習します。講師は、この業界の専門紙「日刊資源新報」を昭和29年から発行している(株)資源新報社より、大田原 覚さんをお呼びします。この機会に、ぜひご参加ください。



## ごみ・環境ビジョン21



184-0013

東京都小金井市前原町 4-11-15 井上方

TEL : 080-9291-3623

FAX : 042-383-1668

e-mail : gomikan21@docomo.ne.jp

HP : <http://gomikan21.com/>

申込み不要。  
直接会場へおいでください。

参加費 (資料代)

会員・学生 : 500 円

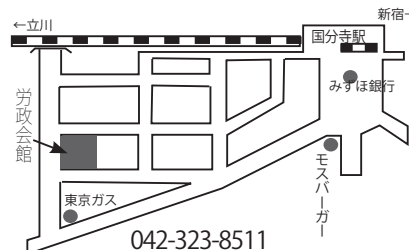
一般 : 1000 円

会場

## 国分寺労政会館

4階第4会議室

中央線・西武線 国分寺駅南口徒歩5分



042-323-8511